

「コンタクトレンズの空ケース回収」活動

ボランティアサークル「マリア救援隊」は、コロナ禍で、思うように活動ができない中でもできることを探し、コンタクトの空ケースを何かリサイクルできないかと考え、

「コンタクトレンズの空ケース回収」ecoプロジェクトに参加しました。

この活動はコンタクトのアイシティさんのecoプロジェクトという活動です。



星美短大キャラクター「ピーノ」

まずは回収ボックスを学生玄関に設置しました!👉



空ケースを回収することで、

- ①CO2の削減、
- ②障がい者の自立・就労支援
- ③日本アイバンク協会への寄付

と、3つの社会貢献になります！

(<https://www.eyecity.jp/eco/>参照)

また、地域での連携にも繋がると考えています(^)

毎日ゴミになってしまう物を減らし、少しの気持ちと行動で「みんなの共通の家」である地球を守ることに繋がります。

コンタクトレンズを使っている人は、ぜひ家族や友だちと空ケース集めて、短大に来た際にボックスに入れてくださると嬉しいです。ご協力よろしくお願いします🌱と、学生や先生方に呼びかけながら進めました。

講義最終日、昼休みの5~6分だけでしたが、1年生のメンバーにも集ってもらい、換気の良い廊下で立ったままでしたが、手短に私たち専攻科生からの引き継ぎ会を行いました。🍒これから1年生が、コンタクトケースのecoプロジェクトを引き続き頑張ってくれます。



ケースがいっぱいに！そして感謝状!! 小さな小さな貢献ですが、嬉しい!



感謝状

星美学園短期大学様

この度は、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収活動「アイシティecoプロジェクト」にご協力いただき誠にありがとうございます。空ケースの売却代金はふたたび視力を取り戻そうと願われる方々のために全額を日本アイバンク協会へ寄付させていただきます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

2022年2月
コンタクトのアイシティ
スタッフ一同

- 今回ご提供いただいたコンタクトレンズ空ケース

重量	個数
3.71kg	3,710個

- 日本アイバンク協会とは
(公財)日本アイバンク協会は、角膜移植とアイバンクの啓発普及のために昭和40年4月19日に設立された非営利団体です。

日本アイバンク協会を取り組んでいる主な事業

- ① 角膜移植登録・角膜移植を推進するための普及啓発事業
- ② 角膜移植術後研究に関する助成事業
- ③ アイバンク活動推進するための啓発事業
- ④ 調査統計事業
- ⑤ 業務・設備等に関する資料